

特集 「30歳成人説」の声を聴く

自分で経験したことが一番役立つ情報です

今の若者に必要なことは、行動することだと思いません。今の若者世代には情報が氾濫（はんらん）しています。でもそれは知ったつもりの情報です。やる前から結果を知ったつもりになっている。

例えば、この会社は自分には無理そうだからといって、就職先としての選択肢から外してしまう。実際にやってみたらどうなるのだからかという考え方がない。例えば悪いかもしれませんが、パチンコもそうだと思います。パチンコは駄目だと言って、頭の中で完結してしまうこともあるけれど、実際にやってみると違つかもしれません。

彼等は頭が良いのです。30歳成人説とか聞くと、「足りない」といったイメージしがちですが、実際の彼等は頭が良過ぎるのだと思います。しかし、行動力がないので、経験できることは限られてしまいます。実際に動いてみると、こんなはず

ではなかったと、それでだめならば、次はこんな対策を立てようとか、やっぱりこれはだめだった、などを経験として積めるわけです。

若い人達と接する中で、「これ面白そうだからやってみようですよ」と言う子には「やってみようじゃなくて、やるんだよ」という話をします。そして親は子供に、「それはできないよ」と言うのではなく、「できるかもしれないね」と言っておけるだけでも違います。子供が行動することを親が促（うなが）してあげるというのがすごく重要であると考えています。

もし、仮にぶらぶらしたり考えたりする時間があるなら、せつかくだから色々やってみようかと切り換えてしまえばよいと思います。その間に身体を鍛えてもよいですし、色んな勉強をしてもよい。上手くいけば働かなくても勉強できるわけですよ。学者にだってなれるかもしれない。そういう人材が増えれば面白い世の中になりそうです。私もできることなら今から大学に行きたいで

す。東大を目指したい。旅行でもなんでも、とにかく行動してみることが大事だと思えます。

私自身、決して恵まれた環境で育ったとは言えません。その中で、明るく楽しく生きてこられたのは、過去を否定していないからだと思えます。私は、苦難の中で生きてこれた人がいたならば、過去を肯定することはなかなか難しいかもしれないけれども、決して否定してはいけないということを伝えたいです。過去を否定していると前に進めません。

あとは、やはり私は笑顔が好きです。私の人生のゴール地点に、「笑顔の連鎖」というのがあります。人の笑顔は不思議と相手も笑顔になります。難しい顔をすると相手も難しい顔をします。自分が笑顔であれば相手も笑顔になって、またそれを見るのも嬉しいという、良い連鎖になります。だからこそ、それを目標にして前向きに生きていきたいのです。

NPO法人若者就職支援協会
HP <http://www.syusyokushien.com>
Mail: soudan@syusyokushien.com